

成年後見地域生活支援員研修
「誰もが当たり前に生きていくために—24時間の生活支援」
「地域で障害の重い人達のあたりまえの暮らしを護る」
なんてことをみなさんと考えていくべきだと思います
誰にも在る存在の価値の再確認…だとか

生まれて初めて
名前さんに乗りました!!

NPO法人 てくてく
にこりんフォーラム2011

しょうかいが重いといわれる人たちの「夢」
～望むくらし・自立・自己実現～の実現にむけて

「くらしの」主役」であるメンバー支援のあり方と「てくてく」の取り組みについて考える。
2011年12月5日 向日市福社会館

「実践に学ぶ」 僕どうでございません。。。。

夢 共に在りたい 共に持ちたい
そんな思いを積み上げましょう

阪急電車で来ました!

どーでもいいんですが、私について
在日朝鮮人(韓国人)の3世

お名前、変わった名前表記下さいません。..

生まれは大阪市西淀川区
1965年のメーテーに。。。未だ芽が出ず、現在に至る。

だからか馴熟落が少なくない

いぢり一自慢は。。。頭はでかいが気が小さい。。。山が大好きですが、ダイバーです。。

20歳代中ごろから看護学校に通う。。。

看護学校に通いながら通った「重心施設」に醉撃、...
精神科医療にもぶっ飛ばされる、..
違和感、幻滅感
せんせんの無力感
で、あほらしくなって止めちゃう...
そこで出会った人だとか・;:
海の生きもののさんたちだとか・;:

で、90年代に…
いろんなものが見えてきた・・・

自立障害者だと、
療育等支援事業だと、
国立療養所だと、
社会福祉基礎構造改革だと・・・

何より、
草の根として活動している
方々に驚き、「とか」・・・

2000年9月に『地域共生スペースぶりば』オープン
兵庫県尼崎市南武庫之荘というところに

阪神間のへそ
在日朝鮮人の居住地

2年ほどで利用登録者数
300名っ!!

時間1000円でなんでもしましょう
レスバイト 本人支援

あっという間のニーズの顕在化

ガイドヘルプ
全身性介護人派遣制度
緊急一時保護者制度
他人介護料助成制度

自由度の高い制度

尼崎市南武庫之荘『地域共生スペースぶりば』では

24時間365日

1時間1000円で
なんでも

障害の有無・種別・
程度に関わらず

尼崎市・西宮市を中心に需要が顕在化
阪神間（南圏域・北圏域の人口規模）
うようよといらっしゃる大変な方々
全然追いついていない社会資源・・・
というよりも・・・

地域共生スペースぶりば
「ぶり」は根っこ 「ば」は仲間（繋がり）・・・
そんな思いのネーミングです



白阪機くんがよく働いたのだ

で、2003年春

支援費制度開始年

伊丹市西台（阪急伊丹駅前）に
有限会社しぇあーどオープン
ちっちゃい事務所にパソコン1台からスタート
しっかり事業にむる詠か！
中から身震いしましたか！
同時に緊急一時保護者制度なども
同時にNPO法人 地域生活を考えよーかい設立

その際の特徴は…

訪問看護ステーションを同時にスタート
当時から・・・（今も変わらず）

あふれてしまう、
重度だと医療的ケアだとと言われる方々を・・・
でも、看護師（医療職）がいれば万全という考え方では無い・・・

看護師（医療職）は違う（うしろ）言えます
かく、地を這う低空飛行が求められます、
かく、當時から思ってました、
かく、今まで思ってました、

で、まずやったこと

お風呂介助

これまでの事業+訪問看護

事業資金は自らが稼動
看護師3人を雇用

届き難いところに届けるサービス?
医療モデルでは無い地域生活

あたりまえですね。。。.

訪問看護 その際に…
大変?看護師さんを雇うのは??

かんたん!
じゃないけれど。。。

医療モデル的なモノの見方を変えるほうが大変
と言うか、そこ(それ)が大切。。。
今も思う、「医療な部分」に入るのではなく、
その人に擦り寄るということ
暮らしへの場に関わると
暮らしの場に変わると。。。
おもしろいように変わる人々。。。
その人の個性??感性??
そこに向かわす、ご本人たちの「力・はたらき」

で、半年後には

伊丹市鴻池(伊丹市の北のはずれ)に移転
いちらー私の暮らす街でふ。。。
マンション1室(2LDK)を借りての拠点作り
宿泊と入浴

もちろんの24時間体制で、
とにかく共に過ごす、
共に遊ぶ、共に楽しみまくる
そこから(こそ)産まれる関係性

特にお風呂は大切なのだ(持論)

その翌年(2002年春)には

震災復興事業
CB離陸応援事業の助成金で
貸し店舗を活動拠点に追加

リースペースとして活用

とにかく増え続ける需要の中で…

なんとも足りない社会資源
その根源は??

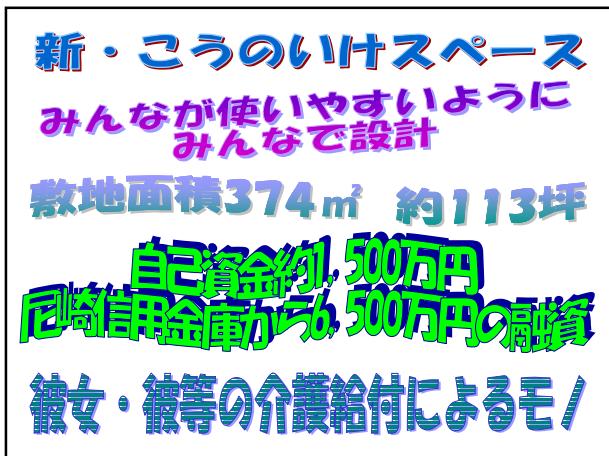
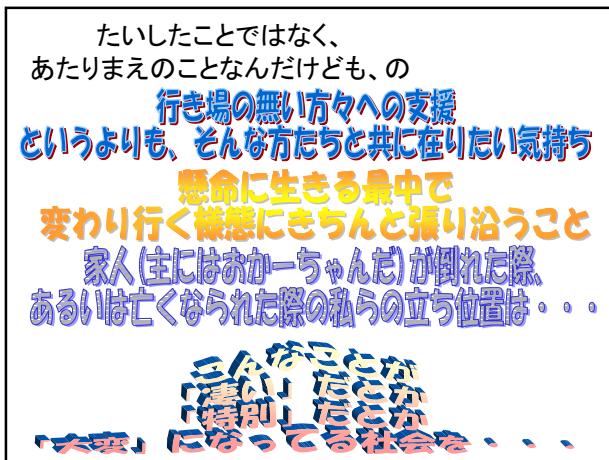
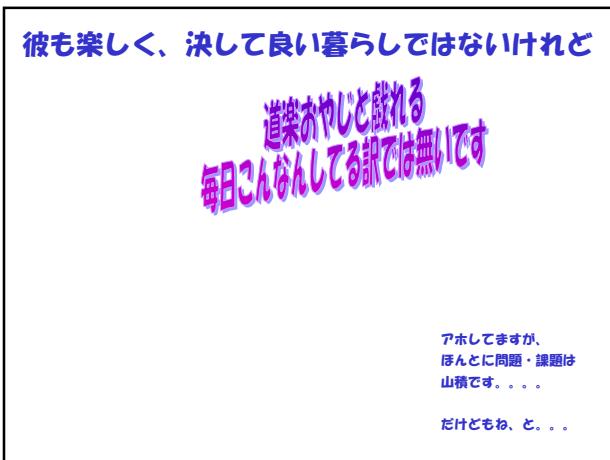
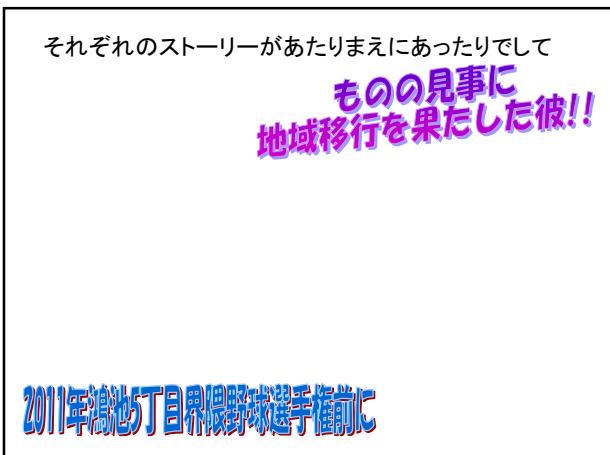
最も期待したいところ(ところ)が機能しない訳は??

今はどんどん変わりつつあります

とても悲しいこととして…
変わりにくく人に添えない魂だとか
最も必要な「力」を感じながらもしりにと、とか

様態の変化に

変わらぬ関わりを





こうのいけスペース

ゆとりです・・・
贅沢です・・・ 道楽です。
素振りもできます



なんで、こんな作るのか・・・

多機能だとかが良いわけがない
大切なのは、ゆったりした中での確かめ(確認)
多聴こう(たきこう=たくさん聴こう!)

それに、託児にある存在感を
隠したい(してほしい)が做不到の・・・だったり

有限会社だからできるのか?

で、私たちの活動 と言うか、ほとんど道楽・・

利用者みなさんが
180数名、なんと
なく重度の方ばかり
どのようなイメージがあるかも?ですが、障害の程度だ
とか有無とかはあまり関係なく楽しんでます。



彼らも・・・

なんちゅうありますかの、
彼らの「ちから」とか
彼女「はなうき」・・・

引き寄せられる私たち・・・

超重症児といわれる彼らも

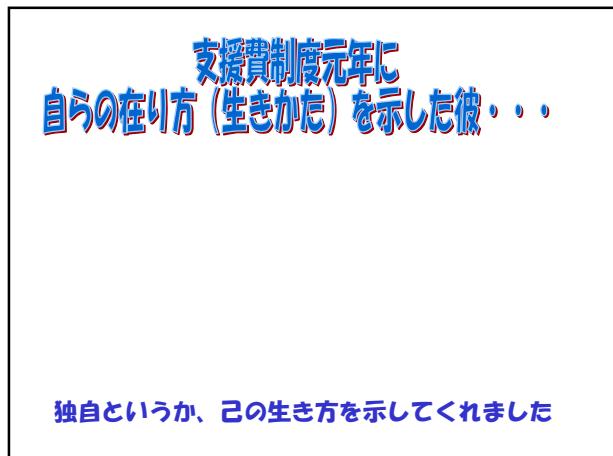
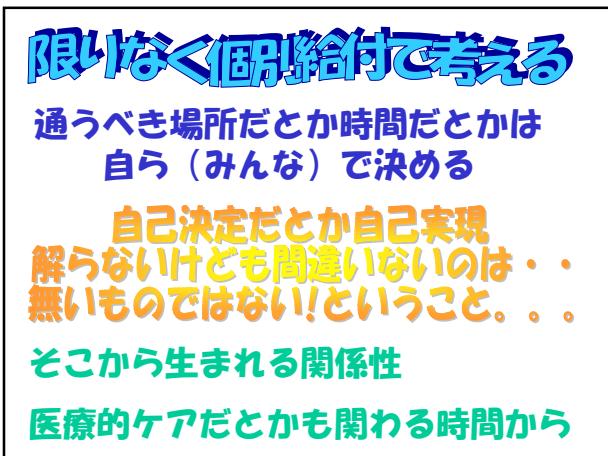
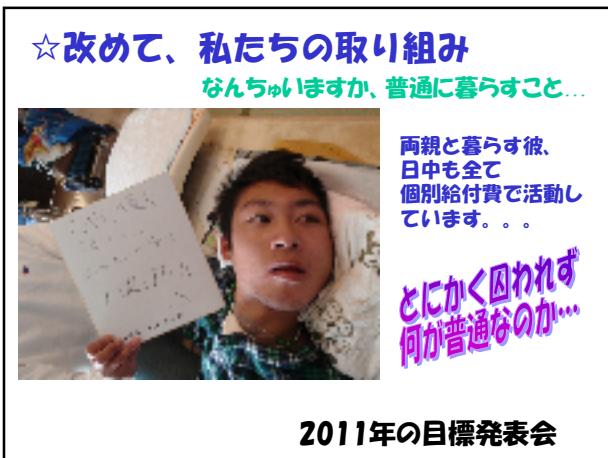
やっばい!
やいだす!



私(くにもど)は、
お花とお野菜に
お水をあげる係り。・

超重症児などといわれる彼らに

しっかり
追いついていくのか



おそらく彼の生き方が・・・

就労とか介護とかではなくての・・・

生産性や能力とかでもない 「普通感」

あんたが居るだけで、・・

生き方の選び方・・・

制度に合わせるとかではなく・・・

「自分らしく」とかって、よく言うけれど・・・

ほんとにそれってどういうこと??

個別の対応が生み出すもの

おそらく生活に即していると思う
ご本人主体とはそういうこと
制度や職種で切り分けられない
そこから様々なことが生まれる
支援者と共にの相互主体の確立
ご本人さんの存在価値の明確化

1/13 おたんじょうびかい

ワッフルを
作っているぞーです。。。
なんか寝てますが・・・

7~8年前、彼女の母は「生まれてこの方、2時間と離れたこと
がない」等と言ってました。。。

彼らに導かれる私ら・・・



来月はクリスマス会だよん!!



2010年11月17日

2010年のクリスマス会

超重症児などと
いわれる彼らたちの
普通って・・・

息すること、生きる
ことの意味とか、
彼らの「力」、
「はたらき」とか

あたりまえですか、
機械に生かされてる訳じゃない。
呼吸器が息している訳じゃない。

サンタのおばちゃんは、
言いました・・・

彼らの力にぜんぜん追いついてない
福祉・医療・地域・社会

2010年のクリスマス会

彼女・彼等の「力」「はたらき」を
なんちゅいますか、の医療ニースの高い方たち・・・
彼女・彼らとのなんとも言えない「かかわり」(關係)
そいつを共に創っていくことこそが、地域社会のはじまり

2010年のクリスマス会

彼女・彼等こそを
しっかりと・・・ 彼女・彼等こそが・・・
・・・と言うよりも 置き去り（保護される）だとか
追いつかないで。 ほっとかれる存在ではなくっての
間違いなく在る彼女・彼等の存在価値

彼女、彼等の「はたらき」
彼女・彼らの「生産性」

彼女・彼らが主体的に生きる社会こそが豊かな社会
立ち上がる（あるいは湧き上がる）主体と
相互主体への導き、地域社会の変革
「貧困」「無縁」の社会を変える
それらが彼女・彼らの「力」であり「はたらき」
糸賀一雄先生が記した生産性
そのことを実感し得る共存者として
それを導いてくれる彼女・彼らの「力」

USJにて
ほんでから、
あたりまえに、
お楽しみ・・・
彼等にとって、
私たちにとっての
「命」だとか
「時間」だとか

あでかけ 山歩き倶楽部



ふつーに趣味の・

六甲山最高峰!!!!

こうのいけスペースにて

彼女・彼等の・・・と言えるスペースに
それはきっと広さや大きさや位置だとかではなくって・・・

みんなでお出かけ



神戸フルーツフラワーパーク

彼らに導かれての取り組み
というか、彼女・彼らの感じ
追いついてない私たち。。

望む暮らし・自立・自己実現を考える際に

やっぱし、私ならどうなのか?
あなたはどうですか? かしら・・・
私たちは感じ得ている（苦）
彼女・彼らの「力」「はたらき」を
地域（街、あるいは町・村）で生きることによって
産み出される様々のこと・・・
会での格差、貧困社会と言われる隙、
雇用創出だってね。..

せんだって（2011年8月25日）の「ラーの会での宣言文です

2011.8.27

重症心身障害児者ちいわれる方々と共に生きる会
横浜大会 大会宣言のから抜粋

一人ひとり（重症心身障害児・者といわれる方々）は、何もできない人、保護のもとにいる人などでは到底あうはずがありません。日々自己実現を目指し自分として自分らしく自分の人生を生きていこうとし続けていく存在です。一人ひとりが地域社会の間わりの中で一人の市民として生きていこうとすることから、地域社会の中で新たな創造的命みを展開してきたこと。一人ひとりが地域社会の中に新たな価値観を生み出し本当に一人ひとりが大切にされる地域連帯のもとの豊かさを溌々おこしていることを私たちは身を持って実感し続けてきました。

一人ひとりの存在価値のままで、地域生活展開と制度改革をおし進めていきましょう。

私たちの前で自身の暮らしを築き、一人ひとりの価値的物語を展開し、その人しさを讃嘆する一人ひとりのその立ち上がりしていく主体は、厳然として暮らしを拓き続けてきましたし、これからもそうあり続けます。

間違いなくあるご本人さん（重症心身障害児・者といわれる一人ひとり）の存在価値と共に、私たち支援者というよりも共生者として共に立ち上がり、この機会にみんなで確認し繋がりあっていきましょう。

一人ひとりの存在こそが、地域・社会そしてこの国の希望です。

私たちはこれから・・・

やっぱり大切にしていきたいこと

基本は障害者権利条約
第5条 合理的配慮

そして、第19条 「平等の権利」

特定の生活様式を強いられない

そして、基本合意文書

「社会の対等な一員として
安心して暮らすことのできるものとする」

このことは、基礎となる指針
総合福祉法の骨格提言の基礎となる指針

さらにしつこくみてみると
障害者総合福祉法の骨格に関する
総合福祉部会の提言
「はじめに」から抜粋

私たちのこうした思いが、国民や世論の理解を得て、それが政治を突き動かし、障害者一人ひとりが自身の存在の価値を実感し、様々な人と共に支えあいながら生きていくことの喜びを分かち合える社会への一步になることを信じて、ここに骨格提言をまとめました。

今、新法への一步を歩み出すことが必要です。

まさに、我がまちでも

さらにしつこくみてみると

障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言「ありに」から抜粋

…それは、とりもなおさず、「弱くもろい社会」から、一人ひとりの存在が心より大切にされ、誰もが排除されることなく社会に包摂される、本当に豊かな社会づくりに寄与するものであると確信しています。

今、日本中が協力して災害からの新生・復興をすすめ、すべての人が尊重され、安心して暮らせる社会を作ろうとしています。本骨格提言がめざす共生社会は、この新生・復興の日本社会の不可欠の一部となると信じています。障害者がそのらしく働きたり、社会活動しながら、暮らせる社会はすべての人が暮らしやすい社会でもあります。

まさに、我がまちでも

望むくらし・自立・自己実現を考える際に

まだまだ全くと言っていいほど足りない資源

まだまだ置いてけぼり感のある

「重心」「精神」といわれる方々

「高次脳機能障害」だとか「選択性意識障害」といわれる方々

まさに、障害者総合福祉法の骨格提言にあるようなことなど

余ができることははい、
私は困難(難)が如何に低空飛行できるかだと!!!

望むくらし・自立・自己実現を考える際に

私が思うに、というよりも、多くの方々（と言っても、ここにお集まりになっているような方々なんぞ、数は知れていませんが）が感じている「社会資源の乏しさ」。

ただども、この10年の間にも大きく（目まぐるしく）制度も変わってきた（決して全ての方にとっての「良い方向」ではないのでしょうか）。

おそらく、これからも、少しずつ（今回の総合福祉法の骨格提言もきっと削ぎ落とされて法案となるのでしょうか）みんなの望む制度へと変わっていくものかと思います。

ただども（ばかりでいいません）、そんな流れを「待ってはいられない」方々に対して・・・、ここ向日市・長岡京市周辺でも、様々な方々の思いが積み重ねられ（ここらも、やっぱり、ご本人さんの「力」なんでしょうね、きっと）、やっぱり「共に生きる」だとか「共生社会の実現」だとか「支援者」などと偉そうに語っている輩（ん、私のことだっ、）こそが、「それ」を捕わなくてどうするのだ!!と・・・（かなり強引・・・）。

私が言いたいのは、ほんの少しの「意識のあるもの（者）」（特に医療従事者が）、「地を這うように」とは言いませんが（いや、言ってる、すいません）、ほんの少し「低空飛行」できればな・・・と。

そんな思いこそがあれば

制度や法律で生きていく訳で無し

個別実現の実体化こそが普遍性へと繋がる

と、私は思う。
し、そあるべきだとも思う。。

その際に必要なのが、
彼女・彼らの存在の顕在化

彼女・彼らの存在価値を

それが私たちの行う（べき）こと

昨年度の調査報告書から等々・・・

「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」

に基づく医療的ケアの法制化についても・・・

仕組み・制度と 本当に必要なモノは

平成22年度障害者総合福祉推進事業

医療ニーズの高い障害者等への支援策に関する調査報告書

以下のサイトから

<http://www.Kangaeyo-Kai.net/>

地域生活を考えよーかい

平成22年度障害者総合福祉推進事業

医療ニーズの高い障害者等への支援策に関する調査報告書

P61～ 5. 総括 より

「決して医療的ケアが特別なものとせず、境目無くサービスを提供」
「重要なのは、特定の行為ではなく、特定の人」とのかかわりであるということ

「相談支援の重要性」・・・具体的かつ即時的な機能が必要

「MSWの重要性」と市町村の責任

「福祉サービスの隙間を埋めることを誰かが担わない限り暮らしが成り立たない」「個別の支援を受けながら生活を維持している」実態

「施設（あるいは病院）」で提供される職員体制がしっかりしたサービスは時として（医療的ケアを要する方など）、「その枠組み（組織・制度等）」が利用に対して強固な壁となる場合があり、個別の支援を充実させることに重点を置いた方が、支援の量も幅も広がる可能性がある。

Rくん、ほんとにありがとうね。。
せんせん追いつけてなかったけど、
この写真がとっても好きでね。。

2011年11月13日
ありがとう、りくん
しづあーどのおつちゃんより

ご清聴ありがとうございました

地域生活を考えよーかい

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

